

# よしだ 議会だより

第115号

令和6年10月発行

〒421-0395  
静岡県榛原郡吉田町住吉87  
TEL:0548-33-2141  
吉田町議会  
責任者 議長 大石 巖

|                  |     |
|------------------|-----|
| 令和5年度一般会計決算      | 2P  |
| 令和5年度特別会計・企業会計決算 | 6P  |
| 令和6年度一般会計補正予算    | 7P  |
| 一般質問 6人が町政を問う    | 8P  |
| 常任委員会報告          | 14P |
| 議会報告会ご案内・議員発議案   | 15P |

～ 第34回 吉田町港まつり・花火大会 ～

# 全員一致で認定

## 5年度一般会計決算

歳入総額：**139億1,880万円**

(前年度140億1,896万円 1.0%減)

歳出総額：**132億8,276万円**

(前年度129億3,325万円 2.7%増)

歳入歳出差引額：**6億3,604万円**

(前年度 10億8,570万円)

## 一般会計決算質疑

### 総務費

**問** A-1相談パートナー(文字起)システムで、会議などの文字起こしをした場合の精度や評価は。

**答** 誤字や意味不明な言葉が入っているが、職員がチェックをして、対応している。通常作業の3割くらいは削減できているのではないかと感じる。今後活用 の場を広げていく。

**問** 町民からの要望や陳情を、どのような手順でどのように対応しているのか。

**答** 総務課が窓口になり、町長や各担当課にあげて対応する。返事が必要なものにはご連絡や途中経過を報告したりしている。役場や職員に対してのお叱りやお褒めの言葉などは、課長会議などで報告し、共有を図っている。

**問** 建設から30年以上経過している庁舎の維持管理のため、雨漏りの調査は行われているか。

**答** 現在予算は確保していないが、庁舎の長寿命化のためにも、今後検討していく。

**問** 当町と川根本町とのイノベーション推進事業についての取り組みと成果は。

**答** それぞれの特色を生かして、地域の活性化を図る事業である。海のツアー、山のツアーとしての交流や、ふるさと納税で特産品の交流や商品開発などを実施している。

**問** 5年9月に自動交付機が撤去され、窓口とコンビニでの交付となった。その結果として、窓口業務が増加している。窓口業務の負担を減らすためには、

コンビニ交付を増やしていく必要があるがその対策は。

**答** 自動交付機の廃止と同時に、コンビニ交付の手数料を100円減額した。しかしコンビニでは、一部交付できない戸籍などがある。また機械操作が苦手、マイナンバーカードの暗証番号が分からないなどの理由で、話を聞きながら手続きができる窓口へと来られる方が多いと推察している。

内容をより分かりやすく案内し、更なる周知に努める。また機械操作の手順を解説したチラシを設置して、コンビニ交付の増加に向けた取り組みを積極的に進めながら、住民サービスの向上に努めていく。

## 令和5年度の主な事業



生活交通確保対策事業（"ぎゅっと"カーよしだ）



多目的広場整備（多目的トイレ）

|                      |          |
|----------------------|----------|
| ふるさと納税推進事業費          | 70,161万円 |
| 物価高騰対応生活支援臨時給付金給付事業費 | 10,846万円 |
| 漁港環境整備事業費            | 10,008万円 |
| 生活排水改善対策事業費          | 8,907万円  |
| 生活交通確保対策費            | 4,841万円  |

### 予備費

**問** 予備費を他会計に充用する場合の基準は。

**答** 予算を取る場合は、当初予算・補正予算が原理原則である。その上で、補正予算で対応可能であれば補正予算で処理。次に補正予算が間に合わない場合は予算流用を考える。そこで流用できる予算が無い場合、しかも直ぐに行わなければならない事業の場合については予備費を使用するという形で進めている。

### 早期治療をしてほしいとお願いをしている。

コンビニ受診の結果、医師が疲弊してしまうなどの問題が起きてしまうので、医療時間外の受診については受給者証が適用外になるなどの周知を徹底し、適正受診に努めていく。

### 地域子育て支援拠点事業費の中で、子育て支援センターをより多くの方に利用していただくための対策は。

**答** また発達支援で悩まれている方に対しては、専門性を持った方を配置することはできないか。

### 民生費

**問** こども医療費助成について、小中高生のコンビニ受診が問題視されることがあるが、町内の現状と考え方および対策は。

**答** 当局においてコンビニ受診かどうかの確認はできない。多受診なども把握できない。受給者証を発行している立場からは、受診控えをしないで、早期受診、

**問** 老人福祉対策費の専門的研修事業委託について、研修を受けた方9人の中で、就労に結び付いた方が0人であったとの事であるが、その理由と就労に繋げるためのマッチングでの対応方法は。

**答** 就労の希望はあったが、ご家族の状況の変化などがあり、就労に至らなかった。研修終了後も契約終了まで時間をかけてマッチングを行っている。ご家庭の状況やサービス事業所の就業形態などを、丁寧に聞き取りながらマッチングを進めている。

**答** 支援センターの周知を図るために、移動支援センターを開催し、小さなお子さんが集まる所で、支援センターの機能や場所などを紹介している。その他にも、さまざまなツールを使用して、利用者・相談者の増に向けて情報発信をしている。

発達支援で悩まれている方には、同じ建物内にある発達支援事業所すみれとの連携を強めているので、相談内容や状況に応じて柔軟に対応している。

## 衛生費

**問** 带状疱疹予防接種費助成事業について、市民の関心が高いと感じているが、この事業の周知方法と今後の取り組みは。

**答** 周知方法としては、広報よしだに掲載、医療機関にチラシの掲示のお願い、健康ガイド冊子に掲載し、全戸配布などを行っている。今後は、国が定期接種化を検討しているワクチンの一つなので、その状況も踏まえながら、引き続き継続していきたいと考えている。



**問** 地球温暖化防止対策事業費の住宅用新エネルギー機器等設置事業補助金について、太陽光発電と蓄電池を同

時に設置しないと補助が出ない。これを別々でも良いとすれば、補助金の総額は上がるが、制度の利用者も増えるし、温暖化防止対策の効果も上がると考えるが。

**答** これまでの実績としては、3年度が3件、4年度が4件、5年度が5件で、申請件数は少ないと考えている。家庭から出る二酸化炭素の削減は、各家庭で発電し蓄電することで、かなりの効果がある。現在太陽光発電を設置している家庭は40件あり、そこに蓄電池が備わることでの効果は高い。今後近隣自治体の状況も見ながら、検討していきたい。

**問** 飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金について、これまでの実績の数字などを分析してみると、効果が疑問がある。焼け石に水の状態ではないかと考え

る。しかし、現状では効果が「有る」「無い」は仮説でしかないので、効果の有無を検証する必要があると考えるが。

**答** その検証方法が現状では想像がつかないので、検証するとは言えないが、検証できるかどうか、調査方法などを検討していく。

しかしながら、1匹の雌猫は生後半年で出産可能となり、1回の出産で4〜8匹生み、それが繰り返され、2年目で80匹、3年目で2千匹に増えるという環境省の試算がある中、5年度の実績で70匹の去勢を行っている。それにより、爆発的な繁殖力の抑制ができていくと考えている。



## 農林水産業費

**問** 用水路改良維持修繕費の山崎頭首工改修工事(ラバーダム)について、農業用水の確保が必要である。工事完成の時期は。

**答** 6年度末に完成の予定である。

**問** 用水路改良維持修繕費の執行率が低かった。理由に「ゴム袋体の製作期間は10カ月程度を要すること」とある。この修繕は農業者からの強い要望があり、町は「できるだけ早く修繕する」と答えていた。5年度に完成できなかったことを農業者にどう説明するのか。

**答** 設計を行った4年度にはゴム袋体は4〜5カ月で調達できる予定であったが、発注時、海外製品のため世界情勢により、時間がかかることが判明し、工事時期に間に合わなかったことが一つの要因と説明する。

**問** 荒廃農地再生事業費について、農地全体に対する荒廃農地の割合状況を町はどのように考えているか。また、補助金制度について利用者への対応は。

**答** 高齢により農業者が減少し、後継者不足が課題である。補助金制度は、大規模農家への補助金は県が行っており、町では、小規模農家への補助金を行っている。PRに努める。

## 商工費

**問** 消費生活費の消費生活相談について、プライバシー保護の観点から相談場所の確保が必要と考えるが対応は。

**答** 5年度の相談件数は60人の内、電話相談が45人、来庁相談が15人である。現状、必要に応じて6階作業室や1階相談室などで対応しており特に必要性はない。

今後、相談数が増加し、必要性が出てくれば検討する。

**問** 地域おこし協力隊について、委嘱期間終了後、新たな協力隊の方を委嘱できない理由は。産業課としての活用を研究、検討中である。

**答** 町の観光の現状をみて、どのように活用できるか精査している。

説明する。

## 土木費

**問** 道路維持費の修繕について、町はLINE

を活用した道路の補修箇所の要望を受け付けている。しかし、決算説明書にはその記載がない。今後の記載方針と状況は。

**答** LINEの町民レポートは4年8月から実施している。5年度は104件で月平均5件となる。内容は、道路異常、道路以外の草刈り、カーブミラーについての通報があった。これらは、町のHPに掲載している。決算説明書には、今後記載方法を検討する。

**問** もっと早く推進できないか。

**答** 大窪川は幅が狭く、止水期に行くため時間がかかる。下流域から順次行っていく。

**問** TOUKA-10推進事業費について、7年度に事業が終了するが、その後の方向性は。

**答** 6年度で「わが家の専門家診断事業」が終了し、7年度は耐震補強工事につなげる。また、耐震補強にかかる国の補助金は8年度も残る。国や県の動向を注視して対応していく。

**問** 吉田町内道路舗装修繕事業費について、国の交付金が減額された中で、一般財源と町債で修繕は計画通りできるのか。

**答** 国の内示率は低かったが、当初計画した起債による修繕はできた。修繕箇所は、道路穴の多い中臨港線を行った。

## 消防費

**問** 水防費の土のう袋について常備対応は。

**答** 町では、浸水被害に対応できるようにストックをしている。住吉西浜町内会からの要望で、避難タワーC工区に置場を設置し200袋を置いている。管理は町内会である。補充については取り決めがないため、協議していくが、町内会に依頼する方向である。

**問** 土のう袋の品質について、耐久性は。

**答** 白い袋は、劣化が早い。耐候性の強い黒い袋は価格が4倍くらいするが、両方ストックしている。使う用途により使い分けている。

※耐候性とは、日光や雨などの天候による要因に対する耐久性をさす言葉。

**問** 津波遡上シミュレーション業務委託について全周防御の構築に向けたL2津波における河川への遡上シミュレーションを実施した結果に対する対応は。

**答** 今回のシミュレーションは住吉防潮堤完成を前提に行っている。今回の結果から、大井川、坂口谷川の堤防のかさ上げは必要である。

**問** 現在の津波ハザードマップでは、河川の遡上危険度が伝わらない。更新は。

**答** 検討中である。住吉防潮堤のかさ上げなどが完成後に更新を考えている。

## 教育費

**問** 教育委員会の視察研修による成果は。

**答** 部活動地域移行の実施状況を視察するため茨城県土浦市、利根町にて視察研修を実施。国の実証授業を行っており、理念について参考となるものがあり、取り入れている。部活動の地域移行において教育委員会が運営主導となるものがあり今後取り入れていく。

**問** 高島グラウンドの施設整備改修について、トイレの修繕は。

**答** 5年度においては修繕できていたが、最近の故障については、トイレが古いため修理部品がなく長期に渡り修理できなかった。

**問** 受講時間を夜間など工夫はできないか。

**答** 運営委員会で検討する。

を行っている。中身の充実に関しては、町の事業やシティプロモーションについてなど町を知っていただく講座も検討していく。

**問** 受講者数は、定員が40人である。満たしているか。

**答** 毎年、満たしているとは言えない。PRに努めていく。受講は2年間であるが、随時受講できる。

**問** 受講時間を夜間など工夫はできないか。

**答** 運営委員会で検討する。

**問** 大幡川改修事業費の大窪川支川改修について、これまでの現状と経緯は。

**答** 延長3.4kmの工事であり、河口から1.7kmが完了している。平成2年から始めた工事で、これまで10億円の費用がかかっている。



土のう袋



## 特別会計決算（万円）

| 特別会計名     | 歳入       | 歳出       | 差引残額  |
|-----------|----------|----------|-------|
| 土地取得事業    | 1        | 1        | 0     |
| 国民健康保険事業  | 26億9,988 | 26億6,585 | 3,402 |
| 後期高齢者医療事業 | 3億4,509  | 3億4,399  | 109   |
| 介護保険事業    | 21億9,056 | 20億9,663 | 9,393 |

## 企業会計決算（万円）

| 企業会計名   |           | 収入     | 支出                   |
|---------|-----------|--------|----------------------|
| 水道事業    | 収益的収入及び支出 | 63,932 | 52,325               |
|         | 資本的収入及び支出 | 8,762  | 39,881 <sup>※1</sup> |
| 公共下水道事業 | 収益的収入及び支出 | 73,273 | 71,574               |
|         | 資本的収入及び支出 | 85,656 | 87,189 <sup>※2</sup> |

※1 不足額の31,119万円は、  
 減債積立金 1,900万円  
 建設改良積立金 9,500万円  
 過年度分消費税資本的収支調整額 2,008万円  
 過年度分損益勘定留保資金 12,604万円  
 当年度分損益勘定留保資金 5,106万円  
 で補填した。

※2 不足額の1,533万円は、  
 3条企業債の借入額 1,533万円で補填した。

# 5年度特別・企業会計決算

### 国民健康保険事業

問

国民健康保険税の収納率は83%で、町民税の収納率97%に比べ低い。これらの税は現年分と滞納繰越分に分けられ、滞納繰越分の全体に占める割合は、町民税が3%で国民健康保険税が17%と極めて多い。現年分の収納率を上げれば、滞納繰越分も減ると思うが、まず滞納繰越分の収納率を上げるための施策は。

答

収納率向上のため、税務課と連携し口座振替を推奨して収納率を上げていきたい。被保険者の7割軽減の方の滞納者が多く、税務課と納付相談を行っていき、税の負担の公平性を考えきめ細やかな対応をしていく。

### 水道事業

問

4年度は漏水があったため有収率が低かった。5年度は有収率が3.7%向上している。その理由は。

答

漏水箇所の調査を行い対策するなどこれまでの対策が効果をもたらしたと考えている。布設替えについても今後、可能な範囲で必要な予算措置をして対策を進めていく。また、最新の材質や耐震性能の水道管に変えることで漏水をなくし、有収率の向上を図り、効率的な水道事業を展開していく。

### 公共下水道事業

問

下水道事業は12年度の経費回収率100%を目指して3回の使用料改定を計画し、今年1回目使用料の値上げを行った。ところが、5

答

年度の経費回収率は38%で4年度の53%に比べ大幅に下がった。その原因は。また、経費回収率が年度ごとに大きく変動する中で100%を目指すのか。  
 新たなストックマネジメント計画を立てる年度はその委託料が大幅に上がり、5年度は約5千万円と高額になったため、経費回収率を下げてしまった。結果的には資産となる工事のための計画策定費用を使用料対象経費に入れていいのかを今後検討する。

経費回収率（%）：

使用料で汚水処理費（使用料対象経費）を回収している割合

# 6年度吉田町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出にそれぞれ6億8,661万円を追加し、総額144億5,350万円とする。

## 【主な補正】

|    |       |                        |
|----|-------|------------------------|
| 歳入 | 地方交付税 | 3億3,223万円 (普通交付税)      |
|    | 繰越金   | 3億5,657万円              |
| 歳出 | 衛生費   | 36万円 (ゴミ減量・リサイクル推進事業費) |
|    | 児童福祉費 | 57万円 (不動産鑑定評価手数料)      |
|    | 諸支出金  | 6億8,247万円 (財政調整基金費)    |

### 一般会計補正質疑

ごみ減量・リサイクル事業

#### 衛生費

問 衣類回収ボックスの運用イメージは。

答 衣類回収ボックスは公共施設・自治会に設置する予定である。回収開始時期は回収業者の選定や各施設との協議を進めて見通しがたつてからになる。

問 児童福祉費の不動産鑑定目的は。

答 自彊小学校の第3児童クラブは神戸集落センターで実施している。ここは学校から遠いため高学年の生徒しか利用できていない。そこで、学校の近くにある旧J A神戸支店の土地、建物を取得するために不動産鑑定する。

#### 民生費

問 児童福祉費の不動産鑑定目的は。

答 自彊小学校の第3児童クラブは神戸集落センターで実施している。ここは学校から遠いため高学年の生徒しか利用できていない。そこで、学校の近くにある旧J A神戸支店の土地、建物を取得するために不動産鑑定する。

不動産鑑定評価手数料

### 予算関連以外の議案・議員発議の質疑

議案第55号  
教育委員の任命

問 教育委員の選任について町の配慮項目は。

答 正式なものではないが、地域性(4地区から)、元教員枠、保護者枠、男女比率は2対2にしたいなどに配慮して決めている。

発議案第5号  
ゲノム編集技術関連食品の表示を求める意見書

問 ゲノム編集技術関連食品の流通に関して、まず安全性の確保が重要である。表示を義務付けることによって安全性は確保できるか。

答 消費者基本法では「消費者の知る権利、選ぶ権利」がうたわれている。本発議はそれに基づき、表示を求めるものであることから、表示によって安全性が確保できるかはわからないが選べるようにしようとするもの。

清掃センターに持ち込まれるごみの約4割が紙・布類である。よって、本事業の目的としては、布類の清掃センターへの持ち込み量を減らすことで、二酸化炭素排出量の削減と広域施設組合に支払う分担金を減らすことなどである。



子どもの居場所

問 この施設の供用開始はいつ頃か。

答 供用開始時期は9年を考えている。7年度に土地を購入し、建物改修のための設計を行い、8年度に工事する。

問 法律上は問題なく、他の自治体でもこのようなケースがないわけではない。本人も各々の対場に沿って、行動すると考える。

答 法律上は問題なく、他の自治体でもこのようなケースがないわけではない。本人も各々の対場に沿って、行動すると考える。

※生物の特徴や機能といった情報すべてが集まっているのが、ゲノムです。ゲノム編集とは、酵素の「はさみ」を使ってゲノムを構成するDNAを切断し、遺伝子を書き換える技術です。

question

問

能満寺山公園周辺の整備は

answer

答

各世代へ利用されにぎわいある施設へ

観光スポットに外国人も利用できる案内看板が新たに設置され、インバウンドで訪れる外国人や町内で活躍する外国人にも優しい公園になってきた。さまざまな世代に親しまれる公園への今後の取り組みを質問した。

**問** 3年経過したアンテナショップによる経済効果は。

**答** アンテナショップが契機となり、効果が出始めている。また、運営事業者による音楽イベントやミニ縁日が5年度、15回開催され、小山城周辺のにぎわいづくりにも寄与している。



アンテナショップ

**問** 能満寺山公園内にて新たな憩いの場や安全への取り組み計画は。

**答** 利用状況から、現在設置のあずま屋1軒・ベンチ2基・芝生広場利用などで充足しており増設は考えていない。安全対策として、夜間実施イベントでの女坂階段部分フットライト、臨時投光器、警備員配置を図っており、新たな階段照明設置計画はない。

**問** 公園内に、インスタグラム映えする空間を



展望台小山城ライトアップ

作り、桜の時期以外でも若者がスマホを活用した情報発信できるような取り組みは。

**答** 誰でも利用できる公園であり、現状、インスタグラムに特化したものは難しいと考える。

**問** 来訪者の利便性向上となる高台部分の駐車場整備計画は。

**答** 今年度、用地取得に向けた地元説明を行っている。来年度駐車場の設計、8年度工事着手の予定である。

く時はスポットクーラーなどで対応する。

**問** 郷土資料館内の空調設備はどうか。

**答** 現在、空調設備はなく扇風機で対応している。今後、猛暑日が続く。

**問** 町が取り組むシーガーデンシティ構想のイメージポスターやジオリマなど、資料館内へ展示して多くの人への将来像を示すことは。

**答** ジオリマは予算的に難しいが、ポスター設置はできる。

～令和元年第4回議会定例会  
質問への対応～

**問** 女坂手すり設置は。  
**答** 現在、設置に向けた発注準備を進めている。

**問** 樹木管理は。  
**答** 例年実施の樹木の伐採、園路上部の樹木下枝剪定に加え、大規模に展望台小山城周辺の樹木の剪定を実施する予定である。



楠元由美子 議員

# 町政を問う

question

問

大地震発生時の避難所運営の担い手は

answer

答

避難所開設後は住民主体の運営を目指す

令和6年能登半島地震では液状化により、甚大な被害が発生した。そこで、吉田町に目を向け、吉田町の液状化に対する考え方、大地震発生時の町が指定した避難所の液状化対策、および避難所運営について質問した。

問 吉田町の液状化マップ

プでは町のほぼ全域がPL値15以上の「液状化危険度極めて高い」とされている。それに対して静岡県の第4次被害想定ではPL値15以上は全町域の約13%である。この違いは。

答 違いは地盤モデルを作成して査定している

かどうかである。県はボーリングなどを用いて地盤モデルを作成して査定している。現在どちらも採用されている手法ではあるが、県の方が精度は高い。

問 町民に過剰な危機感を植え付けないために

も県のマップを町民に知らせるべきでは。

答 現在県HPで見ることが

とできるが、町HPへの掲載を検討する。その際、県の画面は分かりにくいので、見やすい画面に変えたい。

問 県のマップによれば、町の避難所のうち、住

吉小学校ほか2カ所が、PL値5〜15の「液状化の可能性がある」領域に存在する。液状化対策はできているか。

答 全ての避難所の耐震性は最も高いレベル

である。液状化については全ては調べ切れていないが、住吉小学校は液状化の検討をした上で建設していることを確認している。

問 大地震発生時の避難所運営の担い手は。

答 まず町職員が避難所

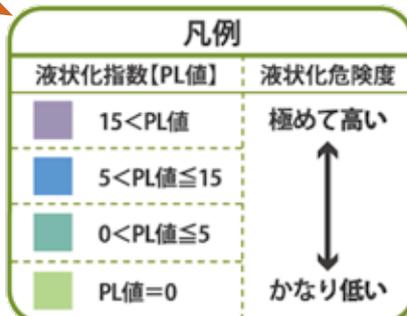
を開設する。県の避難所運営マニュアルにはその後利用者をメンバーとする避難所運営組織を立ち上げることや自主防災組織が避難

所の立ち上げを主導するなどの役割が記載されている。

町も大規模災害時の避難所運営は自主防災会や避難所運営組織による住民主体の運営体制が構築できるよう、避難所運営マニュアルを見直し、訓練などを通じて、地域との調整や連携を図っていく。



液状化マップ



ひらの 野 積 議員

question

問

教育長が考える理想の教育とは

answer

答

個々の持つ力を伸ばすゴールのない営み

学校教育の重要性から、教育問題の質問のため、まずは教育長の教育に対する姿勢や考え方を調べたが、HPにも過去の議会会議録にも、そのような記述は見当たらない。そこで、町の教育を司る教育長に教育方針について質問した。



議員 大石 裕之

問 教育長の教育に取り組む基本姿勢は。

答 これまでの慣習として、当たり前にしてきたことが、本当に当たり前のことなのかを問い直してみることが必要だと感じている。

問 また授業に一人一台

端末が導入されて以降、技能も上達し、子ども同士が関わり合って学ぶ姿は、他に誇れると認識している。一方で、自分の感情をコントロールする力を身に付けていくことが必要であると感じている。

問 子どもたちに将来どのような人間に育ってほしいと考えているか。

答 これからの情報化社会の中で、ICTがいくら進んでも使うのは人間、どう使うか主体的に考える力が必要。子どもたちの主体性を育てたい。

問 吉田町の教育行政について、現時点での評価と課題は。

答 吉田町では、子どもも、教職員も、保護者も元気になれる「教育元気物語TCPTリビンスプラン」を展開している。主眼を子どもの成長に置き、確かな学力を身に付けられる環境、教職員の働く環境、保護者が安心して



問 教育長として情報発信をもっと積極的にしてほしいと思うが。

答 自分が考えていることをどういう形で発信できるか考えていく。

問 吉田町内の子どもたちの特長や評価は。

答 授業や学校行事などで、何かを企画したときの発想力や取り組みに対する積極的な姿勢は優れていると感じる。子どもたちが主体的に活動する姿が見られる。



問 人間的に魅力ある教師を育てることについてどう考えるか。

答 教師の人格は子どもにとって重要なこと。同僚とのふれあいの中で、人と人との関わり

問 教育長として情報発信をもっと積極的にしてほしいと思うが。

答 自分が考えていることをどういう形で発信できるか考えていく。

問 教育長として情報発信をもっと積極的にしてほしいと思うが。

答 自分が考えていることをどういう形で発信できるか考えていく。



# 町政を問う

question

問

部員不足の野球部、サッカー部の対応は

answer

答

牧之原市などとの合同チームを検討中



さかえ 議員  
ぎ 八

中学校部活動、運動部の地域スポーツクラブへの移行について、昨年9月定例会において一般質問をした。あれから一年経過したが、「中学校の部活動について」どれくらい進んだのか気になり、再度質問した。

**問** 本年度の部活動の状況は。

**答** 7月31日現在、全校生徒777人中、509人が運動部16、文化部3に加入し、加入率65%である。未加入者268のうち、141人がクラブチームや他の団体に所属している。

**問** 現在部員不足の運動部にはどのようなものがあるか。

**答** 1年生と2年生の構成では、野球部とサッカー部が部員不足になっている。

**問** 吉田町部活動の在り方協議会において、部活動の方向性はどのように示されたか。

**答** 方向性の基本的な考え方を3つ示した。  
①生徒が自ら新しいことに挑戦したり、自らの特技を生かしたり、自らの将来の夢や目標に向けて主体的に取り組んだりすることができるとする活動とすること。  
②「競技力や技能の向上」または「趣味としての気軽な活動」のどちらを目指すとしても、楽しさを感じるこ

とができる活動とすること。  
③町内1中学校というコンパクトな環境を生かし、地域で支える持続可能な活動とすること。

以上を柱とし、教育委員会内に地域クラブ推進の事務局を置いて進めていく。また、活動の基本的な考えを委員と共有し移行していく。

**問** 協議会において、活動場所についてはどのように示されたか。

**答** 原則学校などの公共施設を使用。使用料は減額か、全額免除の方向で検討する。

**問** 協議会において、活動費や大会参加費などについてはどのように示されたか。

**答** 活動費は部活動と同様、徴収が考えられるが、大会参加費や障害保険費加入費は個人持ちと想定。指導者報酬は今後協議会で慎重に進める。

**問** 吉田町は中学校が1校なので、地域移行後の部員不足への対応は。

**答** 合同チームとして志太榛原支部内の近隣校と組むことは可能で、現在相談中である。

**問** 地域スポーツクラブは、中学校の部活動とは無関係になるのか。

**答** 現時点では、無関係になるわけではないと考える。  
**問** 文化部では、働き方改革による変化は。  
**答** 協議会において地域クラブへの移行を検討していく。  
※最後に、子供たちが迷わないよう、責任を持つようお願いします。



question

問

南海トラフ地震などの巨大地震対応は

answer

答

商業施設との物資供給協定締結で対応

1月1日最大震度7の能登半島地震発生。8月8日最大震度6弱の地震発生に対し、気象庁が南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」を出した。その時点で街の店舗から水が消えた。今必要なことは何かを質問した。

ことが可能になる。災害時において物資の供給を速やかに安定し行えることになる。

1週間後74%、1カ月後で22%と見込まれている。



議員 均 内 山

問 南海トラフ地震臨時

情報が発令された時点で街の店舗から水が消えた。

「災害時荷さばき拠点」と「災害時荷さばき拠点に関する協定」を2社と締結している。

「災害時物資支援協

平成29年一般質問の

「災害時物資支援協

対象としている。

画は。



物資供給拠点付近

飲料水の給水場所につ

できないか。

均

答 具体的には、「災害時物資支援協力に関する協定」の締結を行うことにより（以下略）とあるが、「物資供給に関する協定」の具体的な内容は、

「災害時物資支援協定」では、地震、風水害などによる大規模な災害が発生した場合、町の要請に応じて、災害時に必要となる生活必需品などの物資を供給する協力を行うことに関する事項を定めている。災害時に必要となる生活必需品などは、発災から3日間程度の災害発生直後に必要な物資

問 町民へのメリットは、

南海トラフ巨大地震が発生した場合の被害想定について、「静岡県第4次地震被害想定報告書」では、吉田町の断水率は、発災直後

断水時、給水車による水の給水場所などをハザードマップなどの地図上への情報提供はできない。

具体的には、「災害時物資支援協力に関する協定」の締結を行うことにより（以下略）とあるが、「物資供給に関する協定」の具体的な内容は、

「災害時物資支援協定」では、地震、風水害などによる大規模な災害が発生した場合、町の要請に応じて、災害時に必要となる生活必需品などの物資を供給する協力を行うことに関する事項を定めている。災害時に必要となる生活必需品などは、発災から3日間程度の災害発生直後に必要な物資

町で備蓄していない多種多様な生活必需品を迅速に供給していく

南海トラフ巨大地震が発生した場合の被害想定について、「静岡県第4次地震被害想定報告書」では、吉田町の断水率は、発災直後

断水時、給水車による水の給水場所などをハザードマップなどの地図上への情報提供はできない。

# 町政を問う

question

問

施設整備の実施を目的とした助成は

answer

答

申請を希望する団体には支援を行う

町は前期基本計画第4章の分野「コミュニティ」において、目指す状態を「住民が積極的にコミュニティ活動に参加し、地域活動が自発的に進められているまち」と掲げている。そのなかの「コミュニティ活動の支援について」質問した。

**問** 分野の主な成果の指標にコミュニティ活動

支援件数を掲げているが、内容は。

**答** 自治会や町内会などのコミュニティ団体が行うコミュニティ活動の促進を図るために、必要な備品として、集会所や祭典用などの備品購入に対して助成を行っている。

この助成事業は宝くじの受託事業収入を財源として行われている。事業の広報活動も主な採択要件になる。整備した施設や備品な

どに宝くじの広報表示

を行い、広報よしだに事業実績を掲載し、広く町民への周知をしている。

**問** 5年度の現状値は4

件であるが、どのように考えているのか。

**答** 4年を起点とした累計として。4年度と5年度ともに2件であったため、現状値を4件とした。一般財団法人自治総合センター

が宝くじの社会貢献広報事業として実地する助成の採択件数を指標

としている。

**問** 分野の主な成果指標

の中に9年度までの目標値は12件となつている。施策2のなかで施設の建設の支援は何件を見込んでいるか。

**答** 必要な備品の整備を行う「一般コミュニティ助成事業」と集会所の建設や大規模修繕の実施するための「コミュニティセン

ター助成事業」の2つの事業を想定している。件数には備品整備と施設整備の区分を定

めていない。事業の実績を踏まえた上で設定したものである。

**問** 施設の建設について、町と大幡会館建設

委員会は施設の建設について話し合いを行っているか。



議員 代 昌 田 時

**答** 過去2回意見交換会

を行っている。4年度には、吉田町地区集会所建築補助金やコミュニティセンター助成金を申請するための条件、土地利用に関する手続きについて説明をした。会館の建設がスムーズに進むよう町が作成したロードマップを資料とし、スケジュールの確認を行うなど町関係課が連携してサポート体制を整えた。更なる相談や要望、問合せなどがあつた場合には適時適切に対応していく。



北区大幡会館

# 総務文教常任委員会報告

## 調査事項

### 重層的支援体制について

7月25日

・福祉課から「重層的支援体制整備事業」について概要説明を受け、その後質疑応答を行った。

・各委員から実施策や取り組みごとの再質問を募り、8月中旬までにまとめ、次回定例会で回答をもらうこととした。



調査対象の地域福祉計画については上記QRコードから参照下さい。

9月18日

・福祉課から「重層的支援体制・町や社会福祉協議会の取組に関する質問事項」について回答を受け、その後質疑応答を行った。  
 ・これまでの質問・回答を受け、課題点や改善すべき点、今後の調査の進め方などについて次回協議を行うこととした。



委員長 盛純一郎

| 町や社協の取組（施策例）                  |  |
|-------------------------------|--|
| 包括的な相談支援体制の整備                 |  |
| 民生・児童委員の活動の充実と連携              |  |
| 自治会・町内会との連携                   |  |
| 各種活動団体との連携<br>ネットワーク構築/運営支援など |  |
| 虐待防止・権利擁護事業の充実                |  |



9月18日 委員会

# 産業建設常任委員会報告

## 調査事項

### 空き家等対策の推進について

6月11日

1 富士市視察について各委員の感想をまとめた。

(1) 各委員からの報告

主な意見

・空き家対策に付いてスピード感を持って対処している。  
 ・職員の仕事に対する熱意が感じられた。

(2) 感想のまとめ方

・正副委員長で6月中旬にメールで配信する。  
 ・最終的に、各市の比較ができるような様式でまとめる。

7月9日

1 富士市視察のまとめを行なった。

2 7月29日の掛川市視察の準備、確認をした。

7月29日

1 掛川市への視察を実施した。

8月19日

1 掛川市視察について各委員の感想をまとめた。

(1) 各委員からの報告

主な意見

・取り組みの速さとの確な対策・対応を感じた。(国より早い)  
 ・市長自らの政策の一つであり、職員の熱意を感じた。

・民間の専門家集団「NPO法人ランドバンク」へ委託。  
 ・補助金制度にも力を入れている。

2 今後の視察予定

藤枝市、袋井市

委員長 山内均



7月29日 掛川市視察

# 第22回 議会報告会を開催します

以下の日程・内容で議会報告会を開催します。今回はテーマを決めて皆さんの率直なご意見を伺いたいと考えています。この機会に、あなたの思いを伝えてみませんか。多数の方々のご来場をお待ちしています。

## ●日程・会場●

| 期 日       | 時 間           | 会 場   |
|-----------|---------------|-------|
| 10月28日(月) | 19時00分～20時40分 | 片岡会館  |
| 10月29日(火) | 19時00分～20時40分 | 北区自彊館 |
| 11月 6日(水) | 19時00分～20時40分 | 住吉会館  |
| 11月 7日(木) | 19時00分～20時40分 | 川尻会館  |

※お住まいとは別の地区の会場にも参加できます。  
※事前申し込みは必要ありません。

## ●主な内容●

- 議会からの報告
  - 令和5年度一般会計決算
  - 委員会活動
  - 意見交換のテーマ説明
- 意見交換
  - 子どもの居場所
  - “ぎゅっと”カーよしだ
  - 吉田町議会議員定数

## 発議案

### 地震財特法の延長に関する意見書

東海地震に備えて、地震防災対策強化地域である本町は、静岡県が作成した地震対策緊急整備事業計画に基づき、各般にわたる地震対策を鋭意講じている。この計画は令和6年度末で期限切れを迎えるが、依然として必要な事業が多く残されている。(中略)

国においては、地震対策緊急整備事業計画の根拠となっている「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業にかかる国の財政上の特別措置に関する法律」を延長するよう強く要望する。

※地震財特法対象事業 緊急輸送道路、津波防災施設、公共施設の耐震化、避難地・避難路、消防資機材の整備などに関する事業

### ゲノム編集技術関連食品の表示を求める意見書

特定遺伝子を狙って操作する新しい「ゲノム編集技術」を応用した種苗・農林水産物及びこれを原料とする食品が将来的な安全性の検証や環境影響評価もないまま実用化され、現在表示の義務もなく流通できるようになっています。

このまま流通が広がればゲノム編集技術を使っているかどうかの判別が困難になり、普通の作物を育てたい農家も普通の食品を食べたい消費者も選ぶことができなくなり、(中略)

消費者の権利を尊重した消費者政策を推進する責務として、ゲノム編集技術による食品の表示を義務付けるように強く要望する。

### <賛否が分かれた議案>

| 議案・発議案 | 内 容                         | 審議結果      |
|--------|-----------------------------|-----------|
| 議案第47号 | 令和5年度公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 | 原案可決および認定 |
| 議案第55号 | 教育委員会の委員の任命につき同意を求めること      | 原案同意      |
| 発議案第5号 | ゲノム編集技術関連食品の表示を求める意見書       | 原案可決      |

### <審議結果>

| 議案・発議案 | 大石裕之 | 盛純一郎 | 楠元由美子 | 福世義巳 | 三輪美由紀 | 平野積 | 山内均 | 増田剛士 | 八木栄 | 河原崎昇司 | 蒔田昌代 | 大石巖 |
|--------|------|------|-------|------|-------|-----|-----|------|-----|-------|------|-----|
| 議案第47号 | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ○   | ●   | ○    | ○   | ○     | ○    | ※   |
| 議案第55号 | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ●   | ○   | ●    | ●   | ○     | ○    | ※   |
| 発議案第5号 | ○    | ○    | ○     | ○    | ○     | ●   | ●   | ○    | ●   | ○     | ○    | ※   |

○：賛成 ●：反対 ※法令の定めにより議長に表決権はありません。

## 第4回定例会(12月)のご案内

令和6年第4回吉田町議会定例会は12月2日(月)から開催予定です。

傍聴はどなたでもできます。当日に4階議会事務局にて受付を済ましてから5階傍聴席にご入場ください。お待ちしております。 問い合わせ先 議会事務局 33-2141

## まちの話題



7月14日 川尻神社  
八幡津島神社夏季例大祭



8月4日 住吉神社  
片岡神社夏季例大祭



8月2日 大幡会館  
二日会「マジックで認知症予防」



8月17日 千日堂  
住吉地区盆踊り大会



9月2日 中央小学校体育館  
どんぐり教室「講師けん玉名人」



9月15日 下片岡  
三番神社祭典

### 議会広報特別委員会

委員長 楠元由美子 副委員長 平野 積  
委員 大石 裕之 福世 義己 三輪美由紀 増田 剛士